

集落支援員だより

第27号

発行者 東和地域集落支援員
連絡先 66-2490
発行日 令和4年8月25日(木)



誇る国産絹糸

まことにあり

地域一丸となって切磋琢磨

東和地域では昭和60年頃まで養蚕が盛んに行われ、かつては横浜の絹の値段が東和の絹の値段に比べて決まっていた、そんな華やかな時代もあったようです。

それぞれの農家が大きな蚕室を建て、競い合いながら養蚕が行われていて、当時を思い起こすと、養蚕の盛んなときは生き生きと、各戸が活気に満ち溢れていた時代だった様に思われます。

生産減少でも守り抜く

やがて時は過ぎ、諸外国との貿易の緩和と共に、より良い絹製品等が安価で国内に入るようになり、一般国民の着物離れも手伝って、国内の絹の生産も益々減少傾向になっていきました。

それでも現在、東和では養蚕に取り組んでいる農家は4戸残っており、高品質で希少な国産絹の生産に貢献しています。



養蚕は、「掃き立て」時期により、

春蚕、夏蚕、初秋蚕、晩秋蚕、晩秋

秋蚕、初冬蚕が一般に行われていま

す。蚕の餌となる桑づくりは前年か

ら行われ、良質の餌を与える事によ

り、健康な蚕に育ち良質な繭が生産



戸沢太田ヶ入
本多希彦さん とよ子さん

される事になります。

戸沢太田ヶ入の本多希彦さんは、

蚕の飼育には、特に注意を払い、細菌の侵入を防ぎ、温度管理も良質な

繭を生産する大事な要素と言ってい

きました。

希彦さん宅では年間7回の蚕育

を行い、かつては1.8トンの繭の

生産を行っていたようです。今後、

国内で絹織物の良さが見直され、着

物文化が再来されるような日を待

ち望み、家族全員健康で養蚕に携わ

っていききたいと語っていました。

大切にしたい

価値の分配

太田鍛冶内の農免道路沿いにある元菅野製材所菅野忠雄さんの敷地造成工事の時に湧き水があり、忠雄さんはこの湧き水を地中に埋め戻さずに、何かに利用できないかということ、農免道路の道端まで誘引し、水場として利用して現在に至っています。



太田鍛冶内の湧き水

40年程前に誘引した時から今日まで、水量もほとんど変わらず、清らかな水が激みなく流れています。

「夏も近づくと八十八夜」と歌に歌われし日も過ぎ、少しの体動でも汗ばむようなこの季節、近所の方々は農作業の合間に喉を潤し、また車で

地域を笑顔に

蓮の花は神代の昔よりその美しさから珍重され、全国で花を楽しむマニアも増えているようです。

身近なところでは戸沢川向の菅野敬さん宅の池18アールに蓮が植えられ、道行く人の目を楽しませております。



戸沢川向の蓮の花

通る旅人も立ち止まってこの湧き水を利用し、地元では大事な水場となっております。
自然の恵みも大切、先人が残してくれた知恵や施設も後世に繋いでいくのも価値ある行動ではないでしょうか。

その日が来るのは

明日かもしれない

今年の梅雨は例年になく短く、思いもよらぬ気温の変化によって、誰しもがとまどい、連日の体温越えの気温には、先が思いやられるというような日々ではないでしょうか。梅雨明けにも異変が生じ、極めて短い梅雨明けとなったようですが、集中豪雨やゲリラ豪雨や線状降水帯は、相変わらず猛威をふるい、その雨を降らす要因の一つに海水の温度上昇が影響していると言われています。

自然の驚異、予測不可能なのが自然の摂理であり、その恐ろしさがまざまざと見せつけられる今日であります。そんな中、我々は常日頃より生活範囲を見渡し、いざというときに備えておく必要があるのではないのでしょうか。

地球温暖化のいま、いついかなる事が起こるかなどは分かる術もなく、災害は「時と場所は選ばない」ということだと思えます。

何が何でも「命は大切」。今一度自分の住んでいる近所をハザードマップ等で確認して、どのような危険が潜んでいるか予知しておくことが、いざというときに役に立ちます。各々集落での防災意識を高めるためにも、自主防災組織の立

ち上げを検討してみたいかがでしょうか。まずはお近くの集落支援員にお声がけください。

棚田で田植え体験

5月21日(土)、太田市一区の菅野金一さん宅の田んぼで、今ではあまり見られなくなった手植えでの田植えが行われました。昨年、国指定の棚田に認定されてから初めての手植えということで、慶応義塾大学の学生ほか、近郷近在から約30名の参加により「ひと時前」の田植えとなりました。

手植え体験できるといって、ポラントピアの方々も集まり、田んぼでは思うように動けず足をとられ、悪戦苦闘の末、田は緑に変わりました。そよ風に揺らぐ緑の稚苗に「丈夫に育て」と祈り、晴れやかな初夏の一日となりました。



手植え体験参加の皆さん

さわやかな風コーナー

江戸の暮らしを楽しみたい

美しい棚田と

昔ながらの豊かな暮らし

三瓶美代子 (太田)

私が住む布沢地区は、美しい棚田が自慢の地域です。地域の方たちが手入れをして維持してくれています。小さい頃はこの景観が当たり前で、そこに価値があるなんて考えたこともありませんでした。子育ては三世代同居を希望していたので、出産を機に東和へUターンしました。ここには都会にはないこの環境を存分に味わってほしいと思い、ホテル観察やどんと焼きなど、近所の集まりと一緒に参加するようになりました。

そこからこの地域の価値や魅力に気づくことが増え、優しい人柄と豊かな自然はもちろんのこと、渋滞や混雑も少なくストレスフリーで、先輩たちの暮らしは昔から既にSDGs。今ではとても贅沢な環境だと思っています。

ここもが大きくなってもふるさとを好きでいてもらいたいというのが私の願いです。そのためにも、まずは自分がここでの暮らしを楽しみたいです。

昔うちにあったという水車を復活させ、中山間地域の特性を活かした小水力発電と石臼挽きを兼ねたハイブリッド

な水車小屋を作ることが、最近できた私の夢です。普段は地域住民が気軽に集えるコミュニティスペースとして、緊急時はエネルギーが確保できるような設備として運用できたらいいなとワクワクしています。



太田地区 三瓶美代子さん

◆◆ゴミ分別学習会開催◆◆

～水色から透明へ～

ゴミを分別し資源ごみを増やし、地球温暖化対策に大きく貢献！
もとみやクリーンセンターのゴミ分別の状況と分別の仕方を学びます。
お気軽にご参加ください。

- ▼期日 9月22日(金) 13:30～15:30
- ▼場所 東和文化センター
- ▼主催 東和地域婦人会
- ▼講師 もとみやクリーンセンター職員
- ▼申込 東和支所地域振興課 引地
TEL 66-2490